



カナダでの県産品 PR の大役を担う！
～ホテルグランフォーレの調理師・森實大祐さん～



県産品の輸出拡大を目指し、県などが3月19日(月)にカナダのトロントで開催する「えひめPRフェア」に、ホテルグランフォーレに勤める森實大祐さんが唯一の調理師として同行し、腕を振ります。

同フェアで森實さんは、本市特産品の里芋を使った「伊予美人のおかき揚げきのこのみぞれあんかけ」(右下写真)や「伊予美人と伯方の塩のアイスクリーム」などのほか、鯛やかんきつ類などを使った料理を現地のレストランのオーナーやシェフに提供し、県産品をPRします。

森實さんは「素材の味を生かしながら、盛り付けなど見た目も印象的な料理を心掛けています。今はプレッシャーしかないですが、いい機会を与えられたので、味でも見た目でも相手の心をつかんで、後の輸出拡大につながれたらと思います」と意気込みを話していました。



川之江奨学会へ寄附

このほど、石村浩様(上分町)から100万円のご寄附をいただきました。
心から厚くお礼申し上げます。

市役所川之江庁舎 閉庁式

老朽化により、川之江庁舎を取り壊すことになりました。市民の皆さまに長年親しまれてきた川之江庁舎に、感謝とお別れの意を込めて閉庁式を開催します。

- 日 3月30日(金) 15:00～
- 場 川之江庁舎1階 ロビー
- 内 式典、川之江高等学校吹奏楽部演奏など
- 問 総務課 28-6002

※川之江庁舎での窓口業務は3月16日(金)までとなり、3月19日(月)からは川之江文化センターに移転します

ふるさとアドバイザー 故郷への思いを語る



土居高等学校同窓会 関東支部長
星田 正 さん
(昭和11年土居町生まれ、東京都在住)
【主な経歴】
昭和36年 早稲田大学卒業、三菱マテリアル(株)入社
平成4年 同社四国支店 参与支店長
平成10年 JCOAL 出向 常務理事
平成16年 三菱マテリアル(株) 退職

海山の自然に恵まれた故郷で、土居高校卒業までのびのびと育ちました。戦後の教育制度がようやく落ち着き、生徒会活動とスポーツ(テニス部)に熱中、大学と高校による四国学連の結成に参加、テニスでは県代表の一員として西日本・全国大会に出場した懐かしい思い出があります。東京へ進学する途上、宇高連絡船に乗るとすぐ右手に島を見ましたが、それが後に入社する直島の銅精錬所であったとは運命を感じた次第です。

大学時代は日本の民主運動の大きなうねりに遭遇、安保問題に揺れ動く中、創業者が四国出身の企業に縁あって入社し、やがて瀬戸大橋架橋工事ほかの3架橋工事に携わることになり、故郷に赴任。続いて8の字高速道路工事を担当し、まさに故郷のインフラ構築の一端を担うこととなりました。10年近い勤務の間、現職市長にご指導をいただく機会もあり、感謝にたえません。

リタイア後は武蔵野市吉祥寺に居を構えることとなり、高齢化社会の地域の真ただ中に入りました。

折しも少子高齢化の中、認知症問題が大きな社会問題となりつつあり、その予防対策に取り組みたいとの思いから、仲間と一緒にNPO法人を設立。東京都健康長寿医療センターが開発した予防プログラムなどに取り組んでいます。そのほか武蔵野市と地元の5大学による「自由大学」制度があり、約千人余りの向学心あふれる高齢者が正規の授業を受講、私もその一員として学生との交流を通じ地域の活性化にお役に立てればと思っています。

大学卒業時、恩師からいただいた「民主主義は自ら築き上げるものであり、社会の泉の一員たれ」の言葉を拳拳服膺しています。故郷でお役に立てることがあれば、喜んでではせ参じたいと思う今日この頃です。

最後に、故郷を思う一句を献上します。

「いしづちの 流れゆく雲 瀬戸の春」正風

アンティーク
TREASOR
ANTIQUIS

愛媛県四国中央市三豊町 5009-55
TEL.(0896)28-7390
営業時間 10:00～19:00

アイフルホーム 川之江店(カジワラホーム前)
四国中央市、施工実績NO.1の家づくり

人生を豊かに変える
マイリッチの家づくり

詳しくはWebへ
スマホ対応しています

カジワラホーム株式会社 検索

愛媛県四国中央市要島町1210-1 TEL.0896-56-7701

— 思い伝えるお手伝い。 —

株式会社 **ヨコバ**

7798-0431 香川町 2582 TEL. 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570

